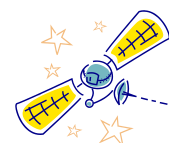


成瀬が丘 防災つうしん



No.1



平成26年9月6日

成瀬が丘自治会自主防災部

●広島土砂災害

今般、広島市北部で起きた土砂災害で、74名の死者・行方不明者が出るという大きな被害が発生しました。お悔み申し上げます。

なぜこのような大きな被害が出たのか。地盤の問題、気象の問題、避難勧告の問題等々現在各機関、専門家が分析中です。

1999年の広島の豪雨災害を機に、土砂災害防止法が制定され、広島県は同法を基に土砂災害の恐れがある土砂災害警戒区域や、特に危険度の高い土砂災害特別警戒区域の指定をしているそうです。行政はそれなりに努力していたようですが、今回被害の出たところは、まだ指定に向けた作業が行われていなかったとのこと。

新聞報道によれば、被害を受けた何人かの人が「自分の住んでいたところがこんなに危険な場所とは知らなかった」と言っています。行政の広報に問題があったとしても、住民自身の災害に対する意識の問題もあります。

振り返って成瀬が丘に当てはめて考えてみると、災害に関しての問題意識は被災地より上でしょうか。下でしょうか。変わらないでしょうか。

被災者には失礼かと思いますが、この際自治会発行の「成瀬が丘自治会防災マップ」を見ながら、わが家の周辺、わが街を点検してみたいかがでしょうか。

なお、「成瀬が丘自治会防災マップ」が家に見当たらない方は、自治会に若干予備がありますのでお申し出ください。(☎796-8876)

●成瀬が丘防災訓練



9月1日は関東大震災記念日、防災の日でした。10月19日(日)は成瀬が丘自治会の自主防災訓練が小川高校で開催されます。ぜひご参加ください。

(成瀬が丘自主防災訓練の詳細は、10月度の自治会広報でご案内します)

※自主防災部として、防災について話し合う班会の開催を別途提案しています。

以上